

開会あいさつ

埼玉県合同輸血療法委員会 代表世話人 池淵 研二

皆さん、こんにちは。埼玉県合同輸血療法委員会、埼玉県、日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部、埼玉県赤十字血液センターの共催で、この輸血フォーラムを開催して、今日がちょうど7回目になります。ずっと引き続きやっていく予定なので、どうぞ興味を持って参加してください。よろしくお祈いします。

今日は3部構成で会を企画しております。第1部は合同輸血療法委員会の活動ということで、業務検討小委員会と、自己血輸血小委員会からその活動報告をさせていただきたいと思ひます。

第2部では、適正輸血を推進するためのキャッチフレーズを募集しましたところ、多数の応募がありました。その中で最優秀作品と優秀作品を選定させていただきましたので、その表彰式と、後で見させていただくと分かりますが、ちょっと面白い、マスコット人形をお渡しすることになっています。

第3部では、順天堂大学医学部麻酔科・ペイン

クリニック科の稲田先生に、お越しいただき、私たち輸血部と輸血部技師と看護師の関わりと、その先で、手術部で輸血のコマンドをされている麻酔科の立場から、適正な輸血の在り方、あるいは、どのようなかたちで輸血をスタートし、どのように評価されるかというところを、ぜひわれわれに教育をしていただこうと思ひています。

それを受けて、検査技師、外科系の看護師を交えて、少々スピーチをしながらディスカッションをして、第3部で締めたいと思ひております。

今日、ここにご来場の皆さま方が、来てよかったな、楽しい時間が過ごせたな、何か病院に帰って帰って、これから活動の参考にしようかなということをおもって帰っていただけることを期待しておりますので、どうぞ、最後までよろしくお祈い致します。

それでは、第7回埼玉輸血フォーラムを、ただいまより開催させていただきます。どうぞよろしくお祈いします。